

# 横浜市平沼記念体育馆 第二期指定管理者業務評価表

<評価基準>

A(著しく優れている): 業務基準・目標水準を遥かに上回っている。

B(適正): 業務基準・目標水準を達成できている(※標準点)

C(改善の必要有): 業務基準・目標水準に満たない。又は一部未達成。

<コメント・理由欄>

A: 数値・具体的な事項等を記入のこと。当初予定していなかった事業を実施し効果をあげたり、目標を遥かに上回った理由を記入。

B: 目標通り達成できている場合は特にコメント不要。目標と違う方法でも同様の効果が得られた場合はその様に記載。

C: 目標に達しなかった理由や今後の改善策を記載のこと。

基本方針	特記 (提案事項要旨)	目標水準(年度計画)	自己評価	総括コメント	行政評価	総括コメント	外部評価	総括コメント
1 多くのスポーツ団体、市民が気楽にスポーツに親しむことができるとともに、様々なスポーツ活動の拠点として利用されることをもって、市民のスポーツ・レクリエーションの普及・進行を図る。	アマチュアスポーツや市民スポーツの振興拠点としての役割・機能をさらに充実するとともに、「横浜市スポーツ振興基本計画」に沿って創意工夫を図り、地域の団体等と協働し、より多くの市民がスポーツを楽しめる機会を拡充していく		A	<p>第2期指定管理における主たる提案事項「スポーツスタジオ新設」「故平沼亮三氏に係る展示品等のPR強化」「近隣施設との連携」などについて、着実に実現させてきています。</p> <p>また、「モニタリング」を徹底し、お客様からのご意見等を積極的に収集するとともに、その内容を精査・反映させたPDDAサイクルによる経営改善を図っています。</p> <p>今後は、「他施設との更なる連携強化」や「利用料金支払いの簡便化」「ランニングステーションの新規開設」など、利用促進を図っていきます。</p> <p>一方、施設の維持管理に関しては、日常点検・清掃を徹底して行い、業務基準に則った修繕の着実な実施、各設備の保守点検を確実に実施していくとともに、的確な修繕を行っていきます。</p> <p>引き続き安全安心な管理運営を心がけ、市民ニーズに適い、かつ地域に根ざした施設として発展させていきます。</p>	B	<p>利用時間の延長やスポーツスタジオの設置によって、市民の利用機会の拡大に努めた。</p> <p>また、25年度からは積極的に施設主催のイベントを開催したほか、近隣施設との連携による事業展開を試みており、今後の新たな利用者層の獲得が期待できる。</p> <p>残りの期間には、地域との連携や、新規事業の展開を、計画に沿って進めるとともに、引き続き、安全・安心な利用環境の維持に努めてほしい。</p>	B	<p>駅から遠く、好立地とは言えない中で、よく運営している。地域との関係も以前よりよくなっている。努力の結果と考えられる。</p> <p>運営面では、他種目・多世代の利用を考えた運営ができる。スポーツスタジオの新設により、新たな利用者層の獲得が実現できたことも大きい。ランニングステーションの新規開設は期待したい。</p> <p>アンケートやモニタリングを引き続きこまめに実施し、より改善に活かしてほしい。</p>
2 スポーツ関係団体や関係者等との連携を強め、スポーツに日頃から親しんでいる人だけでなく、接する機会を持つことが難しい人、関心の薄い人も含め、子供から高齢者まで、より多くの市民がスポーツに興味と関心を持つことのできる多様な機会と場を提供する。								

(1)事業目標	特記 (提案事項要旨)	目標水準(年度計画)	自己評価	備考	行政評価	備考	外部評価	コメント
スポーツを楽しめる『新たな場と機会』を創出	・現事務所を会議室（スポーツスタジオ）へ ・三ツ沢公園内諸施設と連携 ・魅力溢れる教室事業等を開催 ・安心して参加できる健康づくり事業を実施 ・公共屋内スポーツ施設と連携	・事務所のスポーツスタジオ及び教室事業の展開（23年度～） ・三ツ沢公園野外活動センター連携事業の実施（25年度～） ・ランニングステーションの設置（平成26年度） ・多種目多世代に対応した教室事業の実施（23年度～） ・26年度23教室 ・健康づくり教室の実施（23年度※1教室、24年度※2教室～） ・横浜文化体育馆（平沼記念レストハウス）との連携による平沼亮三氏に係る展示やイベントの開催（26年度）	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務所をスポーツスタジオ化し、体育館以外でスポーツ等が実施できる場所を創設しました。スポーツスタジオで開始した13のスポーツ教室事業の参加率は、70%を超え、多くの市民のスポーツ活動を担っています。</li> <li>・市民ギャラリーオープンを記念し、平成25年8月に実施した平祭では、近隣の三ツ沢公園野外活動センターと連携し、クラフト作成を実施し、いつもと異なる事業を体験できるとあって好評でした。</li> <li>・健康づくり事業として、はつらつ健康づくり教室（23年度～）、生活习惯病予防教室（24年度～）の2教室を開催しています。</li> <li>・文部との連携事業の実施について26年度開催を目指し、現在調整を行っております。</li> </ul>	A	<p>計画していた市民ギャラリーやスポーツスタジオを設置し、活用しているほか、市民還元イベントとして、新たに平祭を実施し、子どもを中心とした新たな利用者の獲得や、施設のPRに努めている。</p> <p>また、近隣の宿泊施設（三ツ沢少年自然の家）と連携して、合宿形式での施設利用を提供するなど、施設の特性を生かした新たな利用方法を提案しており、今後も新たな利用者層の獲得が期待できる。</p>		
スポーツ振興の輪を地域に拡大	・地域団体との協働事業を実施 ・指導者の研修の場	・北野井沢町内会秋祭りでの一部会場提供（23年度～） ・公園内施設を活用し、種目別団体・団体協・食生活等改善推進委員会等との地域ニーズに即した事業の実施 ・県スポーツ推進委員会研修の実施（23年度～） ・さわやかスポーツ講習会等地域における人材養成事業研修の実施（26年度）	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北野井沢町内会秋祭りでの駐車場スペースの提供を実施。26年度には、施設内を活用した秋祭りの拡大について提案しております。</li> <li>・県スポーツ推進委員会の研修において協力を継続して行っています。その他、26年度には当協会地域スポーツ課神奈川区担当と、さわやかスポーツ普及委員会講習会の実施や、当協会担当職員と当協会主催の人材養成講座による施設利用の調整を行っております。</li> </ul>	B	<p>地域の秋祭りへのスペース提供を始めとし、今後は主体的に地域との関わりをもつ計画をしています。</p> <p>指導者研修には、会場の提供だけでなく、スタッフによる助成を行っている。</p>		
市民=お客様目線でサービス向上の推進	・ユニバーサルサービスに基づく対応 ・個別の市民要望に的確に対応 ・利用者志向の施設運営 ・利用者目線で大会運営や団体活動にアドバイス	・スポーツ教室受付時の公平・公正な抽選の実施（23年度～） ・筆談具、老眼鏡の用意や耳マークの設置（23年度～） ・見やすい文字やサイン、外国人向けの英語表記を用いた案内サインの設置（23年度～） ・ご意見箱の設置や利用者アンケートの実施による利用者満足度調査の実施（23年度～） ・利用者ニーズに合わせ、暖かい笑顔と明るく丁寧な応対を基本に柔軟な施設運営を実施（23年度～） ・スポーツ相談実施に関する案内を掲示し、大会等の効率的な運営に向けた助言等の実施（23年度～） ・サービス介助士資格の取得（26年度）	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設のバリアフリー化を順次進め、様々なお客様に対応できる環境づくりを進めています。</li> <li>・3ヶ月に1回の満足度調査を実施し、78%に方々に施設に対して満足しているとの回答をいただいている（5段階のうちの4・5評価）。また、これらの調査結果を反映させ、快適な施設づくりを進めています。</li> <li>・接遇に関するQJTを定期的に実施し、お客様目線に立った対応を心掛けています。</li> <li>・施設管理者として事前打合せを行い、安全かつ効率的な大会運営の手助けを行っています。</li> </ul>	B	<p>利用者から、施設の利用方法だけでなく、高齢者や子どもの健康づくりに関する相談を受け付け、アドバイスを行うなど、単なる会場貸しではなく、利用者目線で、利用しやすい環境づくりや、気軽にスポーツを楽しめる機会の創出に努めている。</p> <p>スタッフの教育を日常的に行っており、サービスの向上に努めている。</p> <p>バリアフリーに関しては、課題を認識しており、今後の改善に期待する。</p>	B	<p>3か月に1度の満足度調査や、バリアフリーなどに積極的に取り組み、市民=お客様目線でのサービス向上に努めている。</p> <p>会議室からスタジオの変更等、新たな事業展開に前向きである。</p>
安全・安心・快適な環境づくりに邁進	・施設状況把握の共有化と迅速な情報提供 ・職員による日常点検の実施及び報告の徹底 ・確かな緊急時対応	・点検マニュアル、チェックシートに基づいた日常点検の徹底及び職員の情報共有（23年度～） ・専門業者の点検実施結果に基づく施設の安全の状況把握及び適切な修繕の実施（23年度～） ・施設管理情報、修繕履歴のデータをもとにした修繕計画の策定及び実施（23年度～） ・危機管理マニュアル、消防計画に基づく定期訓練及び自主点検の実施（23年度～） ・横浜市消防長認定の上級救命講習の資格取得者の配置（23年度～） ・年4回の心肺蘇生・AED操作研修の実施（23年度～）	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員による日常点検を徹底して行い、不具合箇所の早期発見に努めています。また、休館日を利用して計画的な専門業者による設備点検等により効果的な保守管理、修繕実施しております。点検結果や修繕記録は、データ管理し、以降の類似案件に適切に対応できるようになります。</li> <li>・不測の事態に適切な対応が取れるよう、施設職員による緊急時対応訓練を定期的に実施し、万全の態勢を整えています。</li> </ul>	B	<p>適切な危機管理、清掃を実施し、安全、快適な施設づくりを行っている。</p>		
コンプライアンス優先の取組を徹底	・コンプライアンスプログラムの策定 ・プライバシーマークを更新取得 ・法令研修の実施と情報公開	・関係法令の遵守及び職員対象研修の実施（23年度～） ・プライバシーマークの更新取得及び研修の実施（23年度～） ・委託契約業者に対する個人情報管理の徹底（23年度～） ・コンプライアンス研修の定期的な実施（23年度～）	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンス、個人情報保護に関する年1回の研修を実施し、職員の意識の強化を図ることで、違反事項等なく万全の管理を行っております。</li> </ul>	B	<p>市体協事務局の実施する研修を施設職員にフィードバックし、コンプライアンス、個人情報保護に関する高い意識づくりに努めている。</p>		
環境に配慮した施設管理	・「横浜市脱温暖化行動指針（CO-DO 3.0）」への積極的な協力 ・環境問題に職員の積極的な取組	・グリーン適合品の優先購入（23年度～） ・グリーン電力を活用した市民参加イベントや大会の開催（26年度） ・横浜市役所ごみゼロルート回収への参加（23年度～） ・各種主催イベントにおいて脱温暖化行動の取組みに関する展示の実施（26年度）	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンマークやエコマークなどの環境ラベルの添付してある商品の購入を積極的に実施しています。</li> <li>・横浜市役所ごみゼロルート回収への参加により、ゴミの排出量を適切に管理し、ゴミの持ち帰りや分別等、ごみの削減への意識的な取り組みを行っています。</li> </ul>	B	<p>今後は、外部への協力などを検討し、環境保全に積極的な施設を目指して努力してほしい。</p>		
収益は市民に還元	・市民還元イベントや各種スポーツ事業の財源に充当	・スポーツレクリエーションフェスティバルの開催（23年度～） ・平祭の実施（25年度～） ・平沼亮三氏誕生日イベントの実施（25年度～）	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育の日前後に実施するスポーツレクリエーションフェスティバルの開設を記念して実施した平祭、平沼亮三氏の誕生日を祝う生誕イベントとして実施してきました。今後、3大事業を毎年慣例の事業とし、推進していきます。</li> </ul>	B	<p>新たな催しを積極的に実施している。</p> <p>平沼亮三氏の生誕イベントとして行われたフットサルトーナメントは、市民還元イベントとして、参加費無料で実施しており、観客も訪れるなど、スポーツの普及に役立っている。</p>		

**横浜市平沼記念体育館**  
**第二期指定管理者業務評価表**

(2)運営目標	特記 (提案事項要旨)	目標水準(年度計画)	自己評価	備考	行政評価	備考	外部評価	コメント
サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者モニタリングを実施</li> <li>「相談コーナー」を設置</li> <li>利用料金の当日払。</li> <li>インターネットでの教室参加申し込み、クレジットカード払を可能にする。</li> <li>朝礼、終れ時の接遇研修実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者満足度調査（23年度～）</li> <li>利用者会議の実施（26年度）</li> <li>ご意見箱の設置及びスポーツ事業の実施に伴う相談窓口の設置（23年度～）</li> <li>利用料金の当日払実施（23年度～）</li> <li>教室参加申し込み等</li> <li>○インターネットでの教室参加申し込みの実施（23年度～）</li> <li>○インターネットでのクレジットカード決済の実施（26年度）</li> <li>接遇に対するOJT研修の実施（23年度～）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年度3か月ごとに実施している満足度調査やご意見箱の設置のほか、26年度は利用頻度の多い団体の代表を集めた利用者会議を実施を予定しており、話し合われた内容を施設運営に活かしていきます。</li> <li>平成25年度に入り、教室事業参加者を中心に実施している満足度調査では、78%の方から施設に対して満足しているとの回答をいたしております。</li> <li>利用料金の当日払いだけでなく、当協会の他の管理施設での支払い受付を実施しております。</li> <li>23年度よりインターネットによる教室受付を行い、多くの方に利用していただけています。26年度からは、インターネットでのクレジットカード決済を導入を予定しております。</li> <li>接遇に関するOJTを定期的に実施し、お客様目線に立った対応を心掛けています。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の声を施設運営に反映させる努力を行っている。</li> <li>インターネットでの教室参加申し込みや、教室参加料の決済を導入するなど、時代の進化に合わせた利用環境の改善に努めている。</li> </ul>		
広報計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域情報誌等の掲載各種広報媒体を活用したタイムリーな情報発信やタウン誌への情報提供など計画的な広報活動</li> <li>広報よこはまへの教室・イベント情報の掲載</li> <li>施設リーフレットの作成</li> <li>近隣公共施設、店舗でのチラシ配布</li> <li>インターネット、モバイル端末への情報配信</li> <li>館内掲示、広報よこはま、マスメディアへの情報掲示等情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タウンニュースやばど、サンケイリビング等を活用した広報の実施（23年度～）</li> <li>広報よこはま市版、区版への教室・イベント情報の掲載の実施（23年度～）</li> <li>施設リーフレットの作成（24年度）</li> <li>近隣公共施設へのチラシ配布実施（23年度～）</li> <li>ホームページによる情報配信（23年度～）</li> <li>施設内掲示、広報よこはまを活用した情報発信（23年度～）</li> <li>SNSを活用した情報発信（26年度）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報よこはまの区版、市版だけでなく、さまざまな世代が情報紙として活用しているタウンニュースやばど、サンケイリビングなどの地域に根差したフリーペーパーを活用し、多岐にわたる事業の周知を実施しております。その結果、教室参加者も年々増加し、需要の高い教室については増設を行うなどの対応をとっています。</li> <li>また、当協会管理施設だけでなく近隣の公共施設においてもチラシの配布を実施しています。</li> <li>今後は、ホームページの充実を図るとともに、ソーシャルネットワークサービスを活用したリアルタイムの情報発信を行い、施設利用者のほか、広く市民へ向けた情報を発信します。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>市体協のネットワークを生かした広報活動を行っている。</li> <li>今後は、SNSの活用など、より多くの市民が施設を身近に感じることができるような取り組みを行ってもらいたい。</li> </ul>		<p style="text-align: center;">B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用時間帯を深夜まで延長するなど、利用者のニーズに合わせる努力をしている。また、深夜営業においては、近隣住民への配慮がなされている。</li> <li>スポーツスタジオの内容も、生活習慣病予防体操など、目標に掲げている健康づくり事業を着実に実施している。</li> </ul>
利用促進策	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本開館時間の延長</li> <li>年末の営業日拡大</li> <li>事務室をスポーツスタジオとして転用</li> <li>健康づくりに関する教室、講座の開催</li> <li>人気の高いフィットサルの事業展開</li> <li>地域に出向いて運動指導や健康相談・講座などをを行う</li> <li>近隣小学校への社会科見学場所としてPR</li> <li>横浜フィルムコミッショナへの協力</li> <li>平沼亮三記念館の活用</li> <li>大会、イベントのコーディネート、利用者支援</li> <li>スポーツ用具のレンタル、販売</li> <li>レンタルロッカーの設置</li> <li>サークル情報コーナーの充実</li> <li>思いやりの館内放送</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月～土21時～23時開館の実施（23年度～）</li> <li>12月29日9時～17時開館（24年度～）</li> <li>事務所のスポーツスタジオ及び教室事業の展開（23年度）</li> <li>はづらつ健康づくり教室の実施（23年度～）</li> <li>生活習慣病予防体操教室の実施（24年度～）</li> <li>フィットサルタイムの実施（23年度～）</li> <li>地域のニーズに合わせた派遣指導の実施（26年度）</li> <li>平沼亮三氏展示室等への社会科見学場所としてPR（26年度）</li> <li>横浜フィルムコミッショナへの受け入れ協力をPR（25年度）</li> <li>市民ギャラリーの開設、利用開始※記念塔3階（25年度～）</li> <li>スポーツ相談の実施（23年度～）</li> <li>スポーツ用具のレンタル・販売の実施（23年度～）</li> <li>ランニングステーションの運用に合わせたレンタルロッカーの設置（26年度）</li> <li>サークル専用掲示板の設置（25年度～）</li> <li>思いやり館内放送としてFMヨコハマの館内放送の実施（25年度～）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>深夜時間（21時から23時）の営業のほか、年末年始の営業延長、事務所のスポーツスタジオへの転用を行っています。</li> <li>健康づくり教室では、毎週2教室で58名もの参加でにぎわっており、市民が元気で明るい生活ができる環境づくりが進んでいます。</li> <li>ニッパツ三沢競技場に隣接する施設である特徴を生かしたフットサル事業の展開は定着しつつあります。20代から30代の交流の場となっています。</li> <li>フィルムコミッショナの実績はないですが、横浜市文化観光局のフィルムコミッショナ担当に対しても、平日利用の旨を働きかけています。</li> <li>スポーツ相談（大会等の効率的な運営、教室参加に関する助言等）に関する案内の掲示及びの実施（23年度～）</li> <li>25年度より開設した市民ギャラリーでは、市民が気軽に展示できるスペースとして運営するほか、今後展開する文化的事業の作品展を実施する場として活用できるようになります。</li> <li>レンタルロッカー、社会科見学受入については諸手続きのうえ、平成26年度に実施を予定しています。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>開館時間の延長や、新たなスポーツスタジオの設置など、市民の利用機会を増やす努力を行っている。</li> <li>人気のある教室の数を増やしたり、新たな種類のフィットネスプログラムを取り入れるなど、利用促進への意欲も高い。</li> <li>今後も、新たに設置した市民ギャラリーの積極的な活用や、現在計画中であるランニングステーションの運用など、施設の価値の多様化に努め、さらに多くの市民から親しまれる施設となるよう努力してほしい。</li> </ul>		<p style="text-align: center;">B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットを活用した教室受付や、現在検討中であるクレジットカード決済など、新たな機能を拡充し、サービスの質の向上に努めている。</li> <li>インターネットを活用した教室受付や、現在検討中であるクレジットカード決済など、新たな機能を拡充し、サービスの質の向上に努めている。</li> </ul>
(3)維持管理目標	特記 (提案事項要旨)	目標水準(年度計画)	自己評価	備考	行政評価	備考	外部評価	コメント
施設の効率的な維持管理および、安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>横浜市体育協会本部との間の設備情報共有体制の構築</li> <li>年次修繕計画と、3～10年間隔の中長期保全計画</li> <li>日常点検、館内巡回の実施</li> <li>1日6回以上の日常清掃</li> <li>体育館入口や、低所部分の重点的な清掃により、ほこり、粉塵による壁面のよごれ、設備劣化の予防</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チェックシートによる日常点検、館内巡回の実施</li> <li>チェックシートによる1日6回以上の日常清掃</li> <li>中・長期保全計画作成（26年度）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>快適な施設を目指し、チェックシートによる日常清掃や点検及び館内巡回により施設の不具合箇所や照明点灯の有無等の確認を行っています。このことにより、施設がきれいになったとお客様の声が多数届いています。</li> <li>平成23年度より業務基準に則って年あたり約300万円の修繕を実施しています。</li> <li>施設の現状を把握したうえで、現行指定管理期間の先5年までの修繕見込み計画を策定する予定です。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的に、こまめな点検や清掃を行うことで、衛生的な環境を保ち、設備の効率的な維持管理ができている。</li> </ul>		<p style="text-align: center;">B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>チェックシートによる日常点検の実施や、1日6回以上の日常清掃など、施設の維持管理に力を入れていることがわかる。</li> <li>また、グリーンカーテンの実施など、環境保全に対する取り組みもできている。こうした取り組みは、利用者に対し、エコ活動の啓発となり、評価できる。</li> </ul>
環境保全に対する取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民参加イベント、大会時のグリーン電力使用</li> <li>利用者1人あたりCO2削減目標の設定</li> <li>グリーン購入の実施</li> <li>グリーンカーテンの実施</li> <li>イベント開催時の啓発活動（実施内容のパネル展示等）</li> <li>LED照明の使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーン電力を活用した市民参加イベントや大会の開催（26年度）</li> <li>利用者1人あたりCO2削減目標（26年度 1212g）</li> <li>トイレットペーパー、コピー用紙等グリーン商品の購入実施（23年度～）</li> <li>グリーンカーテンの設置</li> <li>脱温化行動、横浜市の取組等のパネル展示の実施（26年度）</li> <li>照明のLED照明の採用（26年度）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーンマークやエコマークなど環境ラベルの添付してある商品の購入を積極的に実施しました。</li> <li>夏季は、西日の入る記念塔1階休憩スペース前の窓ガラスを覆うグリーンカーテンを設置しております。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の期間が実施している環境保全運動との連携や、利用者への積極的な働きかけによって、環境保全に積極的な施設を目指してほしい。</li> </ul>		

**横浜市平沼記念体育館**  
**第二期指定管理者業務評価表**

(4)収支目標	特記 (提案事項要旨)	目標水準(年度計画)	自己評価	備考	行政評価	備考	外部評価	コメント
コスト削減	・ライフサイクルコストの削減 ・物品購入方法の見直し ・省エネルギーの取組	・施設管理情報、修繕履歴のデータをもとにした修繕計画の策定及び実施（23年度～） ・体協管理施設と併せた消耗品の一括購入（23年度～） ・人感知センサー、トイレ手洗い自動水洗、センサー付き便器の設置（23年度～）	B	・棲れる前に直す「予防保全」を原則とし、大がかりな工事等による費用増加や利用休止による収入減少を防いでいます。 ・出入りの頻繁なトイレの人感知センサーを導入し、電気代の削減が進んでいます。また、手洗いの自動水洗やセンサー付き便器の導入により水の無駄使いの防止や衛生面を意識した取り組みを行ない、快適な施設づくりを進めています。	B	光熱水費をはじめとした運営費の削減に努めている。 また、日常的な維持管理によって、修繕費等の抑制に努めている。		
収入増	・教室参加者増による教室料金収入の増 ・開館時間延長や、フロア一新設による利用料金の増 ・自動販売機の契約仕様の工夫による収入増	・スポーツスタジオ活用による教室数増加による参加者増及び参加料増（23年度～） ・開館時間延長や、スポーツスタジオ新設による利用料金収入の増加（23年度～） ・屋外への自販機設置（23年度～）	B	・スポーツスタジオ教室数（23年度2教室・24年度9教室） ・スポーツスタジオ教室参加料収入（23年度85千円・24年度2,726千円） ・スポーツスタジオ教室参加者数（23年170人・24年5,226人） ・スポーツスタジオを活用した教室事業は安定しつつあり、70%を超える参加者を獲得できています。また、26年1月より予約システムに利用可能施設として掲載したことにより一般利用者についても徐々に増加しています。 ・施設の屋外敷地内（三ツ沢公園と調整）に設置した自動販売機は、利用者ニーズに合わせた販売品を配置しており、好評で収入増につながっています。	B	体育馆稼働率は96%と高いが、学校の部活による利用など、減免が適用されている機会が多く、利用料金収入の確保が難しい。 教室事業をはじめとした新たな利用者の確保に努めており、引き続き、収入増への努力を続けてほしい。	B	人感知センサー・トイレ手洗い自動水栓等の設置で、衛生環境の向上とともに、コスト削減努力が図られている。既に高い稼働率とことあるが、新たに収益が見込まれる事業を検討するなど、経営改善に期待したい。
(5)その他目標	特記 (提案事項要旨)	目標水準(年度計画)	自己評価	備考	行政評価	備考	外部評価	コメント
地域との連携	・総合型地域スポーツクラブ協働事業の開催 ・自治会、町内会と連携し、地域のイベントや清掃活動、防犯パトロールへ協力 ・地元住民からの雇用	・総合型地域スポーツクラブ協働事業の計画及び実施（26年度） ・神奈川区クラブ会合への参加（25年度） ・町内会の秋祭りへの協力（23年度～） ・地元住民からの住民からのサポートスタッフの雇用（23年度～） ・スポレク時に障害者団体によるパンの販売を実施（25年度）	B	・神奈川区内にある5つの総合型地域スポーツクラブの会合への参加を通して情報交換を行い、市内で最も多くのクラブが活動する神奈川区のクラブの活動をサポートします。協力の第一弾として市民ギャラリーでのクラブボスター等による啓発コーナーの常設を行い、市民へのクラブ事業への参加を促します。 ・町内会イベントや町内会会合への参加のほか、施設近隣の清掃、大雪時における施設周囲での通路の確保を行うための除雪作業を実施しました。 ・市体協職員のほか、サポートスタッフには、地域住民を積極的に雇用し、運営をしていきます。 ・平成26年度にはランニングステーションをオープンさせ、地域住民の運動拠点として強化を進めます。	B	総合型地域スポーツクラブのみならず、町内会会合への参加により、地域に密着した施設運営を計画している。	B	地域のスポーツクラブとの連携ばかりでなく、町内会や障害者団体との関わりもできている。 利用者アンケートの実施やモニタリングの結果を反映した事業ができる。
モニタリング	・利用者会議の開催 ・利用者アンケートの実施 ・ご意見箱の設置 ・HP上に「お問い合わせ」フォーム設置 ・セルフモニタリングの実施	・利用者アンケートの実施（23年度～） ・ご意見場所の設置（23年度～） ・セルフモニタリング（事業評価会）の実施（23～年度） ・利用者会議の開催（26年度） ・HP上に「お問い合わせ」フォーム設置（26年度）	B	・満足度調査やご意見箱からの利用者意見を取り入れたことで施設運営の改善が進み、満足度調査の評価も施設に満足していると回答した方が24年度よりも10%近く向上しています。 ・当協会内部で事業評価執行会議（年4回）を実施し、事業の見直し等を図っています。 ・今後、団体代表者による利用者会議や、当協会HPや横浜市コールセンター等を通じて、市民から幅広く意見をすい上げる仕組みを整えていきます。また、HPにおける意見の受け入れ等を行い、市民の意向等を反映し、地域に根差した施設づくりを目指します。	B	アンケートの実施や、利用者相談等を通じて、利用者の声を聞く機会を多く持っています。 現在、スポーツに親しみの薄い方にも、親しまれるよう、幅広く市民のニーズを把握するよう努めています。		